

## 目指す子供の姿

- 各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けることができる。
- 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを他者に伝えることができる。
- 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活をする事ができる。

## 目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

### ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、目指す子供の姿の実現

- ◇「体育の見方・考え方」を働かせて資質・能力の三つの柱をバランスよく育成する。  
(支援が必要な子供により重点的な指導、ICTの活用等)
- ◇子供一人一人のよい点や可能性を生かし、よりよい学びを生み出すよう多様な他者と協働する学習活動を行う。

### ②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ◇学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く主体的に自分の課題に挑戦できる場を設定する。
- ◇筋道を立てて練習や作戦について話し合ったり、身近な健康の保持増進について話し合ったりするなど、自分の考えなどを広げたり深めたりできる場面を設定する。

### ③指導と評価の一体化を図り、資質・能力の育成に生かす

- ◇課題解決に向けた学習活動が充実するよう、毎時間のねらいを明確に提示し、ねらいに沿った振り返りができるようにする。
- ◇子供のよい点や進歩の状況などを積極的に見取り、指導の改善や学習意欲の向上を図ることにより、資質・能力の育成に生かす。